

# 令和元年度(平成31年度)事業報告書

(平成31年4月1日～令和2年3月31日まで)

NPO 法人 京都スポーツ・障がい者スポーツ推進協会

## 1 事業の主たる成果について

### (1) 第2回チャレンジカップ京都大会について

開催日	開催場所	概要
平成31年 4月13日～14日	サン・アビリティーズ城陽 体育館	○日本パラ・パワーリフティング連盟主催の「第2回チャレンジカップ京都大会」を後援。全国から約50名の選手が参加 ○チラシやポスターを推進協会で作成し、府や城陽市その他関係機関に宣伝、配布 ○大会の設営や受付業務など全面的に協力

### (2) 選手歓迎交流会の開催について

開催日	開催場所	概要
平成31年 4月13日夕方	サン・アビリティーズ城陽 体育館	○「第2回チャレンジカップ京都大会」の開催に併せて「選手歓迎交流会」を京都府、城陽市とともに主催。西脇府知事や奥田城陽市長ら約120名が参加交流。表彰式典や懇談会の司会進行などを運営。各級の優勝者には、寄贈されたお米3kgなどを授与

### (3) 世界選手権に向けた壮行会の開催について

開催日	開催場所	概要
令和元年 6月29日午前	サンアビリティーズ城陽 体育館	○カザフスタンで開催の世界選手権大会へ向けた壮行会を主催。約60名が参加。支援金も贈呈。来賓に京都府浅山副部長と奥田城陽市長らが参加、激励された。
※和太鼓サークルどん鼓による勇壮な和太鼓演奏ではじまり、KATSUさんによる国歌斉唱とダンス。府立医大の久保俊一名誉教授からも激励の言葉		

#### (4) 第2回障害者スポーツ活動報告会の開催について

開催日	開催場所	概要
令和元年 9月29日午後	文化パーク 城陽西館3階 美術工芸室	○城陽市の福祉ふれあいまつりの一環として開催。約60名が参加。パラリンピックの元代表・現役選手らがパラ・スポーツの魅力や今後の抱負などを語った。
<p>※パネラーには、アテネパラ車イスバスケット日本代表の阪根泰子氏。パラ・パワーリフティング日本選手権大会50kg級1位で世界標準記録も突破して東京パラ代表を目指して奮闘中の中嶋明子選手。リオパラ視覚障害者マラソン伴走者で5位入賞を果たし、東京パラ出場に向けて伴走活動を行っている立命館大学大学院生の日野未奈子氏を迎えた。</p>		

#### (5) 「第3回障がい者スポーツに触れる会」の開催について

開催日	開催場所	概要
令和2年 2月9日午前	サン・アビリティーズ城陽 体育館	○京都府の松村部長を来賓に迎えて開催。日本パラ・パワーリフティング連盟の吉田理事長が「2020パラリンピックに向けて」と題してミニ講演会を実施 ○体験交流会では、次期パラリンピック開催地のパリ大会を目指す若いJスター選手7名が参加。全体では約60名が参加。京都府と城陽市が後援。
<p>※記念撮影時には、安藤衆議院議員、奥田城陽市長が駆けつけてくださり、激励のご挨拶をいただいた。</p>		

## 2 認定NPO法人格の取得について

○令和元年11月1日付けで、「事業活動が適正で公益の増進に資する法人」として京都府知事から認定NPO法人に認定された。  
今後、個人や企業等からの寄附について、税制上の優遇措置が受けられる法人となった。